

京王線沿線まちづくり通信

発行：2009年2月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

2面 ▶ ①京王線沿線街づくり基本方針(案)の区民意見募集

7面 ▶ ③京王線沿線まちづくりQ & A

3面～6面 ▶ ②京王線沿線街づくり基本方針(案)の概要

8面 ▶ ④京王線沿線まちづくりオープンハウスの報告

⑤沿線歩いて発見 (明大前駅)

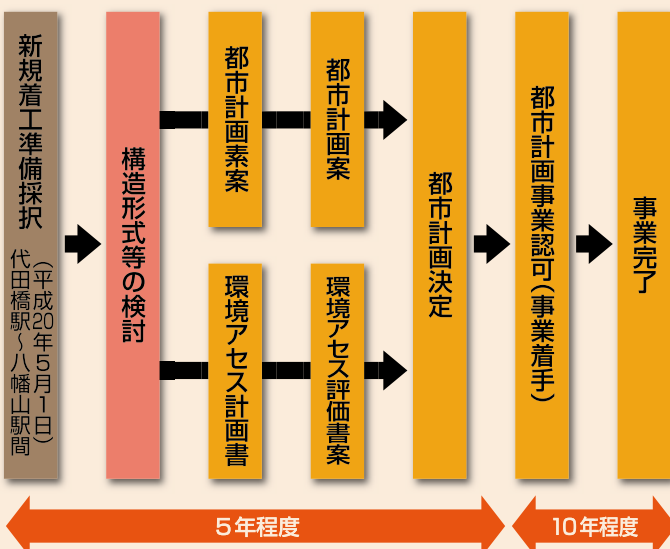


京王線の代田橋駅～八幡山駅付近が連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の採択を受け、東京都により、現在事業化に向けた準備が進められています。また、区では、連立事業を契機とし、区内の京王線沿線地域の街づくりに取り組んでいます。

この度、京王線沿線街づくりを沿線地域で一体的に進めるため、そのあり方等について、「京王線沿線街づくり基本方針(案)」としてまとめましたので皆さんのご意見をお寄せください。

明大前駅前の餅つき大会のようす (H20.12.14 主催：明大前商店街振興組合)

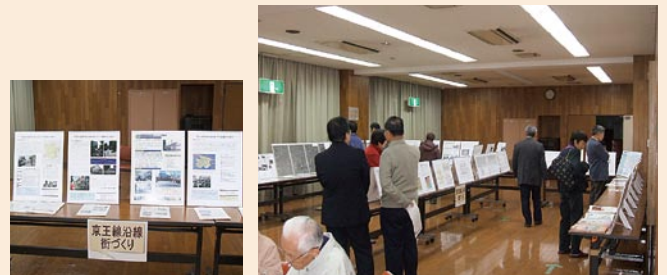
● 連続立体交差事業の概ねの流れ



京王線沿線まちづくりオープンハウスを開催しました

昨年の10月24日から11月15日まで4会場において延べ7日間、京王線沿線まちづくりオープンハウスを開催しました。京王線沿線のまちづくりや連続立体交差事業等についてパネルやパンフレット等を活用してご覧いただきました。

会場には、延べ150名を超える皆さんにご来場いただき、沿線まちづくりについて、参考意見等もいただきました。概要は8ページをご覧ください。



上北沢まちづくり出張所 (地下会議室)

① 京王線沿線街づくり基本方針(案)の 区民意見募集 ～ご意見をお寄せください～

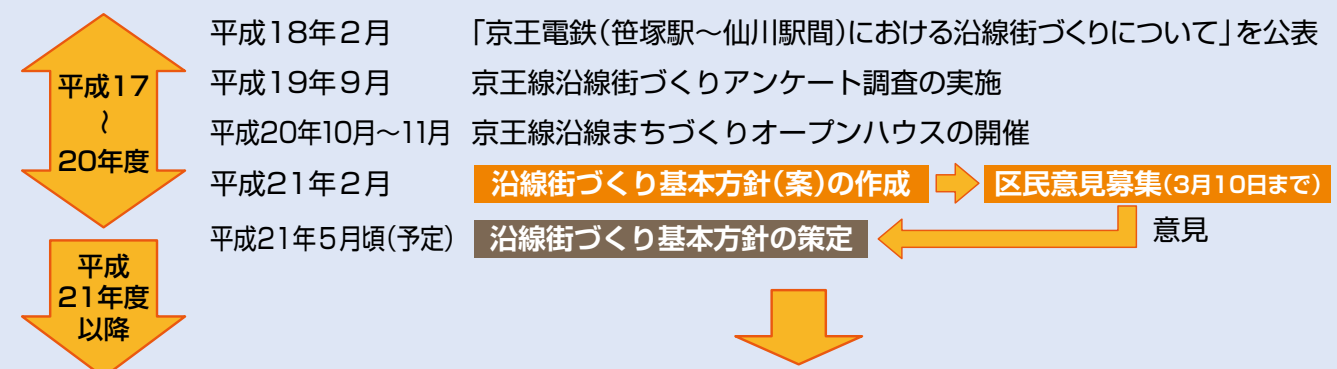
京王線の代田橋駅～八幡山駅付近の区間が、平成20年5月に、連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の採択を受け、東京都により事業化に向けた準備が進められています。区は、さらに八幡山駅以西についても引き続き、早期事業化の実現を目指すとともに、区内京王線沿線全域の街づくりに取り組んでまいります。そこで、京王線沿線街づくりを進める上で必要な沿線の街づくりや、交通ネットワークの考え方などを区民の皆さんと共通認識を深め、さらに街づくりを進めるために「京王線沿線街づくり基本方針」(案)としてとりまとめました。

この度、案をお示しすることにより、皆さんからのご意見を頂き、「京王線沿線街づくり基本方針」をまとめていきたいと考えておりますので、たくさんのご意見・提案をよろしくお願ひします。

京王線沿線街づくり基本方針(案)区民意見募集要領

- **募集内容** ①基本方針(案)全般についての意見 ②沿線共通の考え方及び各駅周辺地区の考え方についての意見
- **対象** 区内在住・在勤・在学の個人
主な構成員が区内在住・在勤・在学の団体
- **基本方針(案)の
閲覧場所** 区政情報センター、各総合支所区政情報コーナー、北沢総合支所街づくり課、烏山総合支所街づくり課
及び交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課(区のホームページ「お知らせ」でもご覧になれます。)※閲覧場所では平成21年3月31日まで閲覧できます。
- **意見提出期間** 平成21年3月10日(火) 必着
- **意見提出先** 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課 区役所第3庁舎2階
- **意見提出方法** ①案件名「京王線沿線街づくり基本方針(案)」 ②案へのご意見・提案 ③住所 ④氏名(法人・団体の場合は名称・代表者名・所在地)を明記し、下記のいずれかの方法で提出してください。
1) 郵送 2) ファクシミリ 3) 鉄道立体・街づくり調整担当課へ持参
- **郵送先** 〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課あて
- **FAX 番号** 03-5432-3084
意見・提案書の様式は自由とします。

基本方針の策定までの取り組み



将来像の実現

歴史と文化を感じるまち 活力と賑わいがあるまち 安全・安心で快適なまち
地域の交流・協働のあるまち 環境に優しく潤いのあるまち

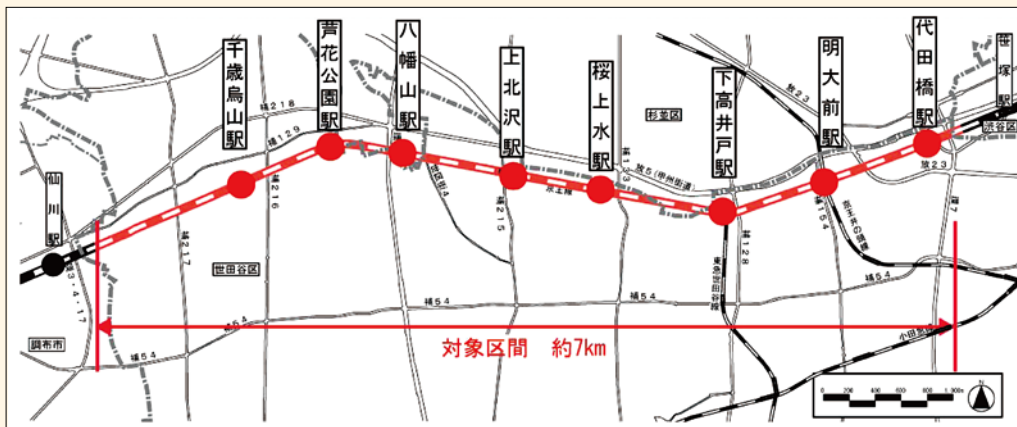
② 京王線沿線街づくり基本方針(案)の概要

1. 目的

- 京王線の代田橋駅～八幡山駅付近の区間が、連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の採択を受け、事業化に向けた準備が進められています。区としては、さらに八幡山駅以西についても、この区間に引き続き、早期の事業化を実現すべく、街づくりに取り組んでいます。また、代田橋駅から千歳烏山駅までの各駅周辺地区では、街づくり協議会等が結成されるなど、区民の街づくりの機運も高まっています。
- こうしたなか、世田谷区の北の玄関口としてふさわしい京王線沿線街づくりを、区民と区が共通認識のもとに進めることが課題となっています。
- 本方針は、京王線沿線街づくりの考え方、方針やあり方、交通ネットワークの方針など、京王線沿線のまちの将来像を示すものです。

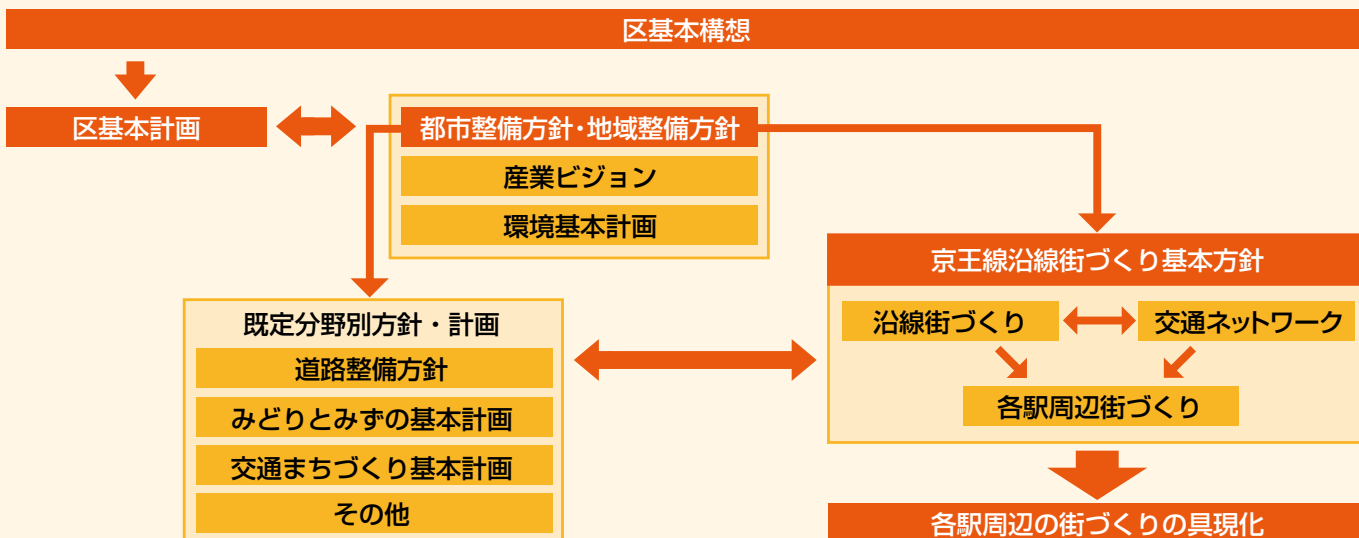
2. 対象範囲

- 基本方針の対象範囲は、代田橋駅から千歳烏山駅の8駅を含む約7kmの区間で、各駅の駅勢圏を網羅する区域とします。



3. 基本方針の位置づけ

- 京王線沿線街づくり基本方針は、区の基本構想・基本計画を踏まえ、都市整備方針に定める街づくりに関する目標の実現に向け、沿線街づくりの具体的な方向性を示すものです。本方針をもとに、各駅周辺の街づくりを具現化していきます。



4. 基本方針の方向性

■ 沿線街づくり

① 沿線共通の考え方

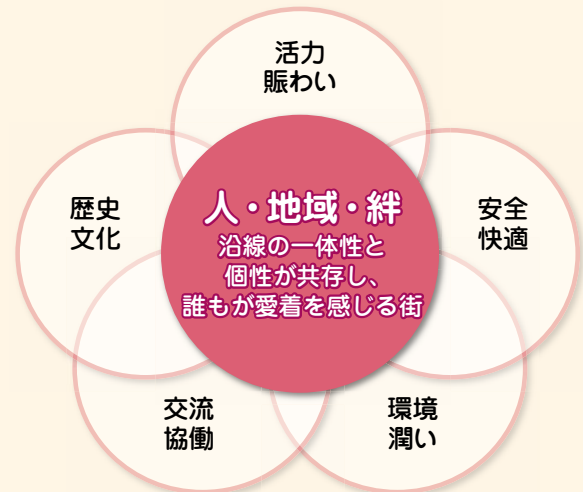
- 人が主役で地域の個性を活かしコミュニケーションを育む街づくりを進めるにあたり、「人」・「地域」・「絆」をキーワードに子どもからお年寄りまでが安全で安心して暮らせる快適な街、訪れた人が再び立ち寄りたくなる賑わいの街、今に残る歴史と文化、みどりの街並みから心地よさを感じる街、などの実現を目指します。

人・地域・絆
沿線の一体性と個性が共存し、
誰もが愛着を感じる街

- 人……………区民主体の街づくり
- 地域……………沿線地域一体の街づくり
- 絆……………人と地域、過去と未来をつなぐ街づくり

② 沿線街づくりの5つの要素

- 街づくりの将来像を実現するための沿線街づくりの5つの要素と街づくりの考え方を示します。



■ 各駅周辺街づくり

各駅周辺地区の考え方

代田橋駅 周辺地区	自然散策を楽しめるみどりの拠点と調和した地区生活拠点の形成
明大前駅 周辺地区	鉄道乗換駅の拠点性・利便性を活かし、多様な主体が連携した賑わいある地域生活拠点の形成
下高井戸駅 周辺地区	地域住民の日常生活を支え、賑わいある商業環境の維持・再生と多様な主体の連携による地域生活拠点の形成
桜上水駅 周辺地区	交通結節機能を強化し、みどり豊かな周辺住宅地を支える魅力的な地区生活拠点の形成
上北沢駅 周辺地区	みどり豊かな街並みと調和する憩いと安らぎの地区生活拠点の形成
八幡山駅 周辺地区	みどりの拠点を活かし、人に優しい地区生活拠点の形成
芦花公園駅 周辺地区	芦花公園や世田谷文学館への玄関口として、みどりと賑わいを感じる魅力的な街並みの地区生活拠点の形成
千歳烏山駅 周辺地区	地域資産を活かし広域な生活圏における多様なニーズに応え、活気と賑わいのある地域生活拠点の形成

交通ネットワーク

- 公共交通と歩行者・自転車を中心とした交通体系の実現を目標に定め、その目標の実現に向けて3つの考え方を定めます。

【交通ネットワーク形成の目標】
公共交通と歩行者・自転車を中心とした交通体系の実現



**沿線地域全体の
交通ネットワークの考え方**
【南北軸・東西軸の形成】

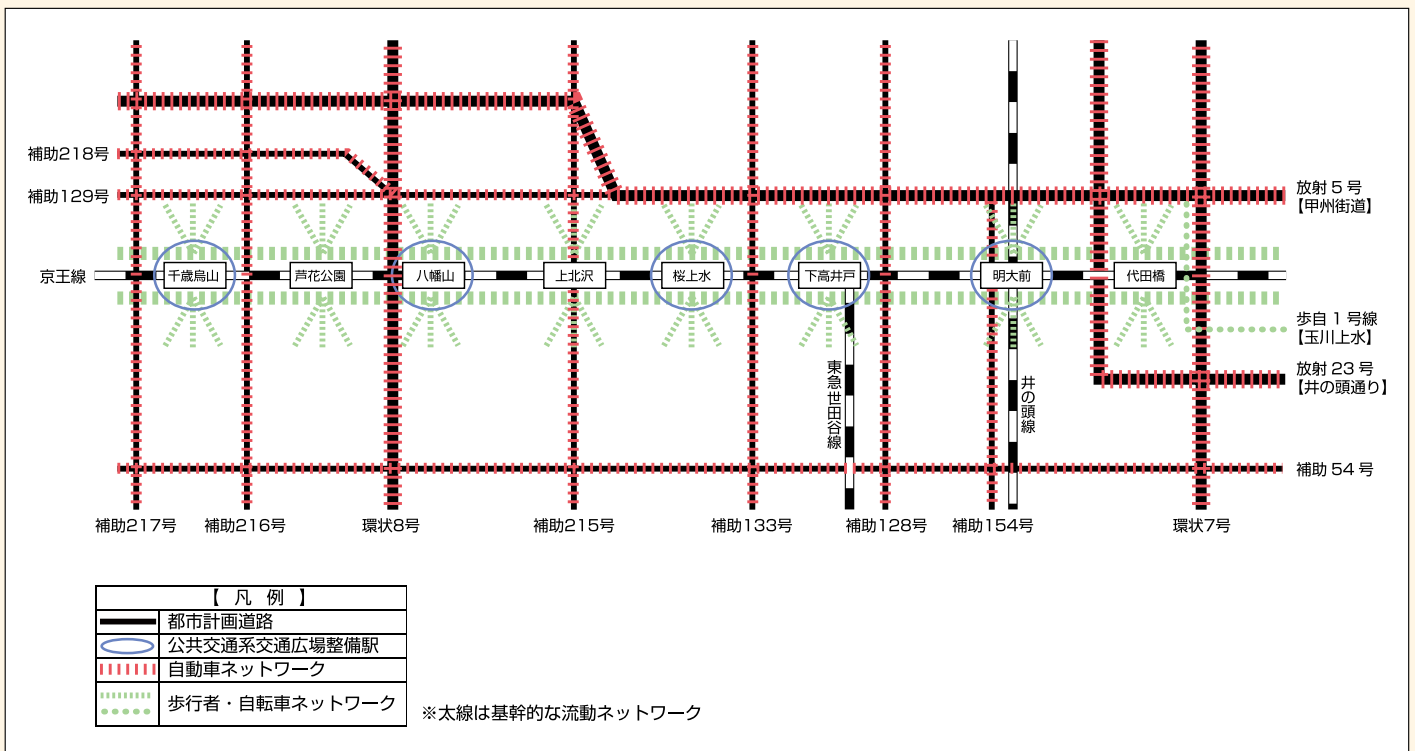
駅別機能分担の考え方
【交通結節機能の強化】

生活交通ネットワークの考え方
【公共交通不便地域の解消、
安全で快適な歩行空間等の形成】

① 沿線地域全体の交通ネットワークの考え方

- 南北方向の交通ネットワーク軸の拡充をめざし、バス路線の導入が想定される道路の整備や交通の拠点として交通結節機能の強化を図るための駅前広場や駅アクセス道路の整備を進めます。
- 東西方向には、鉄道に沿った歩行者・自転車が中心となるネットワークを充実させます。

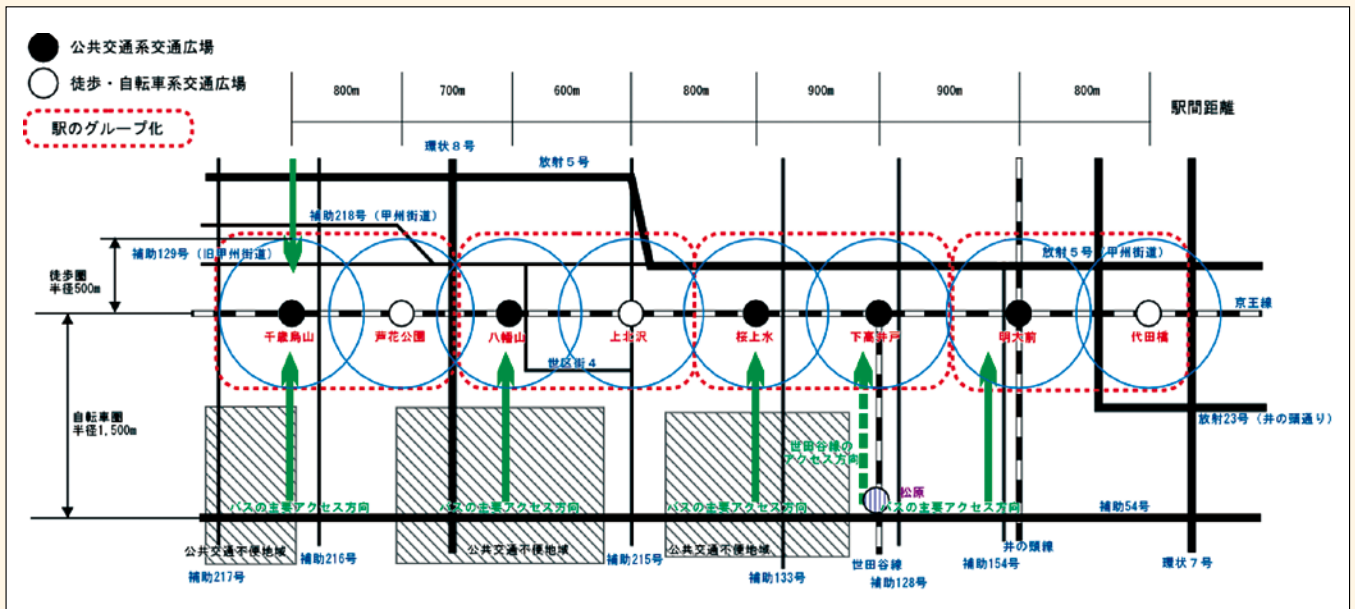
【交通ネットワークの概念】



② 駅別機能分担の考え方

- 京王線沿線地域は駅間が1 km未満と短いため、駅前広場等、交通施設の整備に当っては、駅の利用圏域（＝日常生活圏域）を考慮して駅をグループ化し、グループ内の駅相互で交通結節機能の分担を行い、各駅の特性に応じた機能分担を行うとともに、駅間における人と自転車のネットワーク化を図ります。

【各駅の交通機能分担の考え方】



③ 生活交通ネットワークの考え方

(ア) 公共交通ネットワーク

- 鉄道とバスによる公共交通ネットワークによって、交通不便地域を解消します。
- 脆弱な南北方向移動を担う公共交通軸となるバスネットワークや、広域路線ネットワークの形成を推進します。

(イ) 歩行者ネットワーク

- 住宅地と駅、駅と駅を結ぶ東西方向の歩行軸の形成と鉄道を横断する南北方向の歩行空間の整備により、駅を中心とした全方向の歩行者ネットワークの充実を図り、まちの一体性を高めます。
- まちの中心や商店街の回遊性の確保、区の施設と駅を結ぶ経路の整備等により、安全で快適な歩行者ネットワークの形成を図ります。

(ウ) 自転車ネットワーク

- 環境に優しい交通手段として自転車利用環境の整備等を推進する。主として徒歩とバス・自動車との中間的な距離圏（500 m～3 km）の移動手段、さらに遠距離移動の手段、健康増進や娯楽性を兼ねた交通手段、自動車交通からの転換手段等、様々な可能性を備えた手段として、ネットワークを広げます。

(エ) 自動車交通ネットワーク

- 補助幹線道路等の整備を促進し、円滑な自動車交通の確保と通過交通の生活道路からの排除、災害時の避難・救援の軸を形成します。
- 公共交通系交通広場整備駅には、駅前広場やアクセス道路を整備し、駅周辺への交通結節機能の強化を図ります。駅前での通過交通を抑制し、歩行環境や自転車利用環境に配慮した自動車交通ネットワークを形成します。

③ 京王線沿線まちづくりQ&A

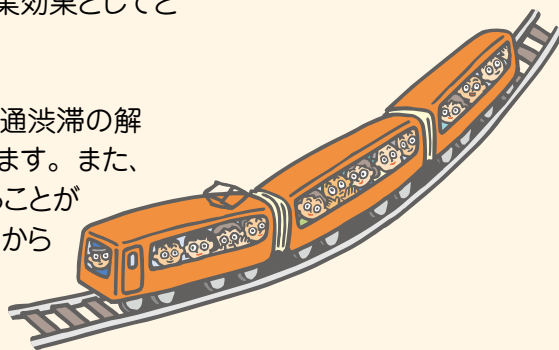
京王線沿線まちづくりについては、区に対して区民の皆さんや各駅周辺地区街づくり協議会等においてたくさんのご意見ご質問をいただいております。主な意見とそれに対する現状における回答をQ & A形式でまとめました。

Q1

京王線連続立体交差事業が行われるようですが、事業効果としてどのようなことが考えられるのですか？

A1

鉄道が立体化することにより、開かずの踏切による交通渋滞の解消や、市街地の一体化による街の活性化などが図られます。また、救急車や消防車などの緊急自動車もスムーズに移動することができるようになり、地域の安全・安心まちづくりという観点からも、多大な効果が見込まれます。



Q2

京王線連続立体交差事業については、現在、どのような検討が行われているのですか？

A2

現在、東京都が現況調査を行うとともに、構造形式や施行方法等について検討を行っております。検討結果は、区民の皆さんに対して今後説明されていくこととなります。

Q3

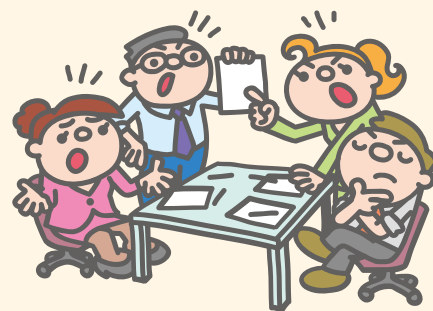
京王線の計画内容について、区民が意見を述べる機会はあるのですか？

A3

計画内容については、東京都が説明会を開催し、区民の皆さんにお知らせすることになります。この説明会の中で意見を述べるすることができます。

また、都市計画法手続きの中で、意見書を提出する機会もあります。

なお、区に対しては、その手続きの中で、東京都から意見照会があります。



Q4

各駅周辺地区では街づくり協議会等が設立され検討を進めていますが、街づくり協議会からの提案しか聞かないのですか？ その他の団体や個人から街づくりに対する意見や提案はできるのですか？

A4

区は、街づくり条例に基づき「活動が地区住民等の多数の支持を得ていると認められること」等一定の要件を満たす各駅周辺地区街づくり協議会等の活動に対して街づくり支援を行っています。条例では地区住民等の自発的参加の機会が保障されており、街づくり協議会へは、多くの皆さんが参加し活動されることが望ましいと考えます。

街づくり協議会では、検討結果として地区の街づくり計画原案を区長に提言することができます。区は提言された内容や皆さんからの意見を参考に区案を作成し、地区内に広く周知し、地元にお住まいの皆さんからさらにご意見を伺いながら地区街づくり計画の策定に向けた手続きを進めていくこととなります。区では、今回の区民意見募集や京王線沿線まちづくりオープンハウスの開催等をはじめ、皆さんの意見を幅広く伺う機会をつくってまいります。

④ 京王線沿線まちづくりオープンハウスの報告

京王線沿線の街づくり、道路と鉄道の連続立体交差事業等についてパネル・パンフレット・過年度アンケート結果などによる情報提供と担当職員による説明等を行いました。また、ご来場の方々からは京王線沿線の街づくりに関する質問や意見を伺いました。

開催日	開催場所 / 会場	時間	来場者数
10月24日(金)	松原まちづくり出張所区民フロアー	15:00～19:00	30名
10月29日(水)	松沢まちづくり出張所会議室	18:00～20:00	13名
10月31日(金)	烏山区民センター第7会議室	15:00～19:00	22名
11月7日(金)	松原まちづくり出張所区民フロアー	15:00～19:00	16名
11月8日(土)	松沢まちづくり出張所会議室	14:00～16:30	13名
11月10日(月)	上北沢まちづくり出張所会議室	15:00～19:00	38名
11月15日(土)	烏山区民センター第2会議室	14:00～16:30	27名
			計 159名



松原まちづくり出張所



烏山区民センター

⑤ 沿線歩いて発見(明大前駅)

今回は明大前駅周辺を歩いてみました。さて、駅名の由来ですが、皆さんご存知の「明治大学和泉キャンパス(図★)」から来ており、駅前には明治大学の学生さんや地域の方々で賑わっています。地元商店街では餅つき大会や盆踊りなども盛大に催されています。そして、駅前には地域の安全を守り、若者に理屈ではなくハートで接する拠点である「明大前ピースメーカーズボックス(図★)」があります。夜間パトロールなどの活動を通じ、地域の安全や治安の維持に大きな役割を果たしています。

駅前商店街に目を向けると学生街らしいファストフード店や喫茶店が目立つ区域と昔懐かしい雰囲気漂う商店街、飲食店街が共存した街の印象を受けます。

明大前駅は、「築地本願寺和田堀廟所(図★)」とも近く、樋口一葉や歌人の九条武子へのお参りもできるそうです。

さて、幻の環状線「東京山手急行(第二山の手線):4路線敷地(図★)」のことをご存知ですか。京王線の下と玉川上水跨線橋下に、大井町を起点とし、中野、滝野川を經由して洲崎



に至る壮大な鉄道プランが戦前に計画されていました。計画では明大前で帝都線と接続する予定だったそうです。その跡地が右の写真で右側2線は現在の京王井の頭線となっています。

街の探訪で知られざる歴史を探して見てください。



明治大学和泉キャンパス(図★)



ピースメーカーズボックス(図★)



東京山手急行計画の跡(図★)